

Tobe Zoological Park of Ehime Pref.

とら Zoo

2024

Vol-36

No.3



目次

Keeper's Note	3
ZOOダイアリーグラフ	4
飼育レポート	6
とべとべCOMIC	10
動物園再発見	12
動物病院から	14
ノスタルジック ズー	15
職員紹介	16
読者投稿用紙	17
ルトラーをさがせ	19

—表紙説明—

■インドホシガメ

英名： Indian Star Tortoise

学名： *Gaochelone elegans*

インド、スリランカ、パキスタンなどの雨季と乾季のある地域に分布し、森林や雑木林、乾燥した草原など様々な環境に生息している小型のリクガメです。水の多い環境を好むため、雨季には活発に活動します。甲羅にきれいな星のような模様があるため、ペットとして人気がありますが、森林伐採や開発による生息地の破壊やペット用の乱獲によって、生息数が減少しています。また、絶滅危惧種に指定されており、ワシントン条約で輸入が規制されていますが、現在も違法な取引から強制的に保護される事例があります。

(写真：横手 凱・文：村上 ひなの)

Keeper's Note

☆オランウータンのフレンジ☆

『フレンジ』とは、強いオスのオランウータンの頬の横に発達する大きな出っ張りのことで、他のオスへの威嚇や、メスへのアピールに使われます。フレンジのあるオスを『フレンジオス』フレンジのないオスを『アンフレンジオス』といいます。

今年の1月、ボルネオオランウータンのハヤトの顔がなんだか大きくなっているのに気づきました。今までの画像をよーく見返してみると、どうやら10月頃からフレンジらしき物が確認されました。フレンジは『自分は強い!』と思ったオスにだけ発達するのですが、立派なフレンジオスであるスマトラオランウータンのディディがすぐ隣の部屋にいるため、ハヤトはフレンジオスにならないだろうと思っていただけにビックリです!ディディとハヤトの間に何があったのか???



アンフレンジ・ハヤト
(2022年9月12歳)



フレンジ・ハヤト
(2024年9月14歳)

ちなみに、フレンジオスが近くからいなくなると、それまでアンフレンジオスだった個体のフレンジが発達し始めることはよくあります。ディディは立派なフレンジオスだったノブお父さんが亡くなったあと、フレンジの発達が始まりました。



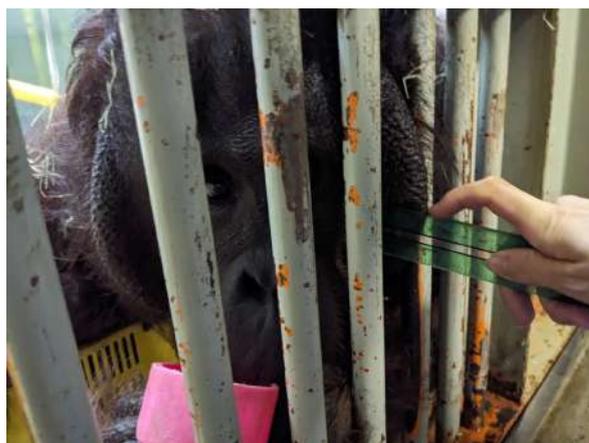
アンフレンジ・ディディ
(2003年8月7歳)



フレンジ・ディディ
(2021年10月25歳)

フレンジオスとアンフレンジオスは体重が倍近く違います。フレンジが成長しだしてからのハヤトは身体もどんどん大きくなり、一段とオスらしくなってきました。ディディに対して威圧的な態度も増え、水を吹きかけることも多くなりました。ディディはとっても迷惑そうです…。

フレンジは個体によりますが、数か月から数年かけて発達するそうです。ハヤトのフレンジも計測を始めた1月は右2.5cm左2.2cmほどでしたが、10月末現在では右4.2cm左5.0cmほどにまで発達しています。とても頭の良いハヤトは、ものさしを見せるとフレンジの計測をすると理解しているので、左右のフレンジを順番に差し出し計測させてくれます。



フレンジ計測中!毎朝の日課です。

フレンジの成長を近くで見れるのはとても貴重なことです。ハヤトのフレンジがどこまで大きくなるのか、立派なフレンジオスに変身中のハヤトに会いに来てください。

(井上 依里子)

フレンジ…



ZOOダイアリーグラフ

2024.8.1~2024.10.31

国際オランウータンの日 8月17日

8月19日は国際オランウータンの日ということで、当園では8月17日に啓発イベントを行いました。オランウータンについてのガイドを行った後、今回は缶バッジを作りました！



ディディは気に入ってくれたかな？

ご参加いただき、
ありがとう
ございました！



夜の動物園を開催しました！

今年も夜の動物園を開催しました！8月は熱帯夜で暑かったですが、9・10月は涼しく過ごしやすい天候に恵まれました。



いつもと違う
雰囲気になくわくわく★



初めての夜の動物園に
どきどき。



イベントはどこにもぎやか♪



【毎月のガイド】

- 毎日「ペンギンのお食事タイム」
- 毎日「テンジクネズミのひみつみーつけた！」
- 毎土・日曜日・祝日「ヒボヒポランチ」(有料)
- 毎土・日曜日・祝日「ソウ様のランチ」(有料)
- 毎日曜日「キリンの瞳に大接近」(有料)
- 毎日曜日「ZOOタイム1130」
- 第2土曜日・第4日曜日「ボランティアガイド」
- 第3木曜日「ゆったりお散歩」

*有料ガイドのチケット販売は管理事務所でしています。

*動物の体調や天候により中止することがあります。詳しくは当園HPをご覧ください。

出産報告

- 8月22日 アカカンガルー (不明 1)
- 9月 5日 インドホシガメ (不明 1)
- 9月 9日 アカカンガルー (不明 1)
- 9月13日 シロオリックス (♀1)

シロオリックス

12年ぶりに誕生!

命名
みたらし



元気に大きく育ってね♪

搬出報告

- 8月 1日 テンジクネズミ (♂1 ♀1)
- 愛媛大学へ



今までありがとう! 元気でね!

搬入報告

- 9月30日 ムツオビアルマジロ (♀1)

名前は「ランラン」
これからよろしくね!

ムツオビアルマジロが
やってきました! 今後の
繁殖に期待しています♪



死亡報告

- 8月 3日 カリフォルニアアシカ (♀1)
- 8月22日 ロバ (♀1)
- 8月27日 キジバト (♀1)
- 9月 3日 テンジクネズミ (♀1)
- 9月 8日 コールダック (♂1)
- 9月23日 シマヘビ (♂1)
- 10月 4日 ウサギ (♂1)
- 10月 5日 テンジクネズミ (♀1)

ロバのコボ (♀) が8月
22日に亡くなりました。
当園で31年間過ごし、
長生きしてくれました。
天国でも気ままな生活を送
っていることを願って
います。



ありがとう、やすらかに…

ミナミコアリクイの介添え哺乳による成育

担当係長 二宮 香澄



☆はじめに

昨年、とべ動物園では初めてとなるミナミコアリクイの赤ちゃんが誕生しました。アリクイとはアリやシロアリを主食とする動物で、当園ではアリと代用食としてペレットや小松菜、リンゴ、バナナ、ゆで卵、きなこ、馬肉などをミキサーにかけてスムージー状にしたものを与えています。誕生した赤ちゃんの母親であるツムは、2023年4月17日に伊豆シャボテン動物公園から繁殖を目的としたブリーディンググローンでやってきました。ツムが新しい環境（南米獣舎）によりやく慣れた頃の74日目の朝、出産しました。本種の妊娠期間は130～160日とされているため、当園に来たときには既に妊娠していたようです。

☆赤ちゃん誕生

2023年6月30日の朝、仔が産まれているのを確認しました。公開を始めた矢先の出来事だったので、展示室（公開エリア）で出産していたため、出産当日は、南米獣舎を閉鎖して子育ての様子を観察することにしました。



出産当日のツムと赤ちゃん

仔を背負っている母親はとても落ち着いていたので、仔の体重を計測したところ284gでした。ミナミコアリクイの赤ちゃんの標準的な体重は300g～500gのため、少し小さめでした。

翌日には寝室全体にクッション材としてオガクズを分厚く敷き詰め、親子を展示室から寝室（非公開エリア）へ移動させました。

☆介添え哺乳に至るまで

仔はしっかりとおっぱいに吸いつき、クックッと大きな音をたてていたので授乳はできていると思われました。ところが仔の健康状態のチェックと体重測定を行ったところ、体重は増えるどころか減り続けました。3日齢にはツムの乳房の張りや乳汁も確認できたものの、仔が置き去りにされることがときどき見られ、「グワグワッ」と仔が大きな鳴き声を発しているにもかかわらず母親は仔に寄り添う事がなく世話をしている様子は見られませんでした。5日齢の仔の体重が250gで脱水症状が見られたことから、一時的に保護をして保温をし、さらに母親のおっぱいに吸い付かせてみましたが上手く吸い付かせることが出来ませんでした。そこでシリンジ（注射筒）でブドウ糖液を飲ませると上手に飲んでくれました。その後、ネコ用のミルクを規定量より少し薄い濃度に溶かしてゆっくり与えてみると0.1mlを力強く飲んでくれました。

人工哺育に切り替えるか悩みどころではありましたが、それまでおっぱいに吸い付いて少なからず母乳が飲めていたことや仔に力強さがあったこと、母親が落ち着いていたことから、子育てをしてくれることを願ってそっと母親の背中に戻しました。この日から母親に育児を任せたまま母乳不足を補うために、日に数回人の手で授乳する介添え哺乳が始まりました。

☆期間や方法

2023年7月5日（5日齢）～2023年12月11日（164日齢）までの160日間、介添え哺乳を続けました。仔はメスで「こころ」と名づけました。

介添え哺乳にはネコ用の粉ミルク（ワンラック・キヤットミルク：森乳サンワールド）を、規定濃度で与えました。哺乳のための器具は動物用シリンジ（NIPURO）1.0 ml、10 ml、30 ml を利用し、筒先に0.5×16 mm の翼状針（TERUMO）のチューブをカットした接続端子を付けて与えました。犬猫用の哺乳瓶も試してみましたがうまく乳首に吸い付けなかったため、チューブの先を口元の横側に入れ、ゆっくりとミルクを押し出して飲ませる方法をとりました。

アリクイ類の特徴である長い舌は、授乳時にはピローンと外に放り出され、飲み終わると口の中にしまい込まれます。ときどき、ミルクを与えている最中に長い舌が私の手にピタッと張り付きその舌が乾燥していくのがわかり、なんとも不思議な飲み方を観察することが出来ました。



体重測定と介添え哺乳の様子

☆介添え哺乳開始

母親の採食時間に合わせて仔をとりあげ身体の汚れや外傷、お腹の張りなどをチェックしてから体重を計測し、その変化で母乳を飲んだかどうかを推測しました。介添え哺乳後にも体重を計測し、ミルクを飲んだ量を記録してから母親の背中に戻しました。介添え用のミルクを与えずに母乳を飲む機会を失ってしまわないように、その都度仔の様子を見ながら介添えのミルク量を調整しました。

母親は仔を背負い、乳は与えるもののそれ以外の世話をすることはなく、仔のおへそや肛門周辺は16日齢まで汚れたままでした（母親が世話をしているかどうかみるため、介添え哺乳時に糞尿の世話は行いませんでした）。ところが17日齢の朝、汚れていたおへそ、肛門周辺はとてもきれいになっていました。母親がきれいに舐めとっていたのです。母性本能が目覚めたのでしょうか！その日以来、仔の身体が汚れていることはありませんでした。世話をすることが見られてから母親の採食量が急に増えたため、エサの増量を行いました。授乳量が増え、仔の体重が増え始めた頃と重なります。介添え哺乳が母乳を飲む妨げになってしまっただけでは本末転倒です。18日齢からは日中に母乳を飲んでもらえるよう、介添え哺乳は朝、夕の1日2回に減らし、ミルクを欲するようなら与えるといった程度で仔の育成を見守ることにしました。日が経つにつれて少しずつミルクの量も増えてきましたが、調乳の上限量を1回30mlまでと制限していました（実際は多めにミルクを調乳していても口元からこぼれる量もあったことから、ミルク後の体重測定で飲んだ量を確認していました）。18時以降の介添え哺乳後の体重よりも、翌朝10時の介添え哺乳前の体重測定の方が体重が増えていることも多くなり、ツムの母親ぶりに感心させられました。7月30日（30日齢）には、体重は363gになりました。介添え哺乳後に母親の背中に戻しても、スルッと降りて一人でヨチヨチと歩き回る様子も見られる

表1. 日齢およびミルクの時間と回数

年月日	日齢	ミルクの回数 1日の回数 (回)	介添えの時間帯
2023/7/5	5	1 0.1	16:30
2023/7/6 ~ 7/9	6 ~ 9	3 0.2 ~ 2.0	10:00 14:00 18:00頃
2023/7/10 ~ 7/11	10 ~ 11	4 1 ~ 3	10:00 12:20 15:00 18:05
2023/7/12 ~ 7/17	12 ~ 17	3 1 ~ 5	10:00 14:00 18:00頃
2023/7/18 ~ 11/21	18 ~ 144	2 3 ~ 30	10:00 18:00頃
2023/11/22 ~ 12/11	145 ~ 164	1 25 ~ 30	17:45頃

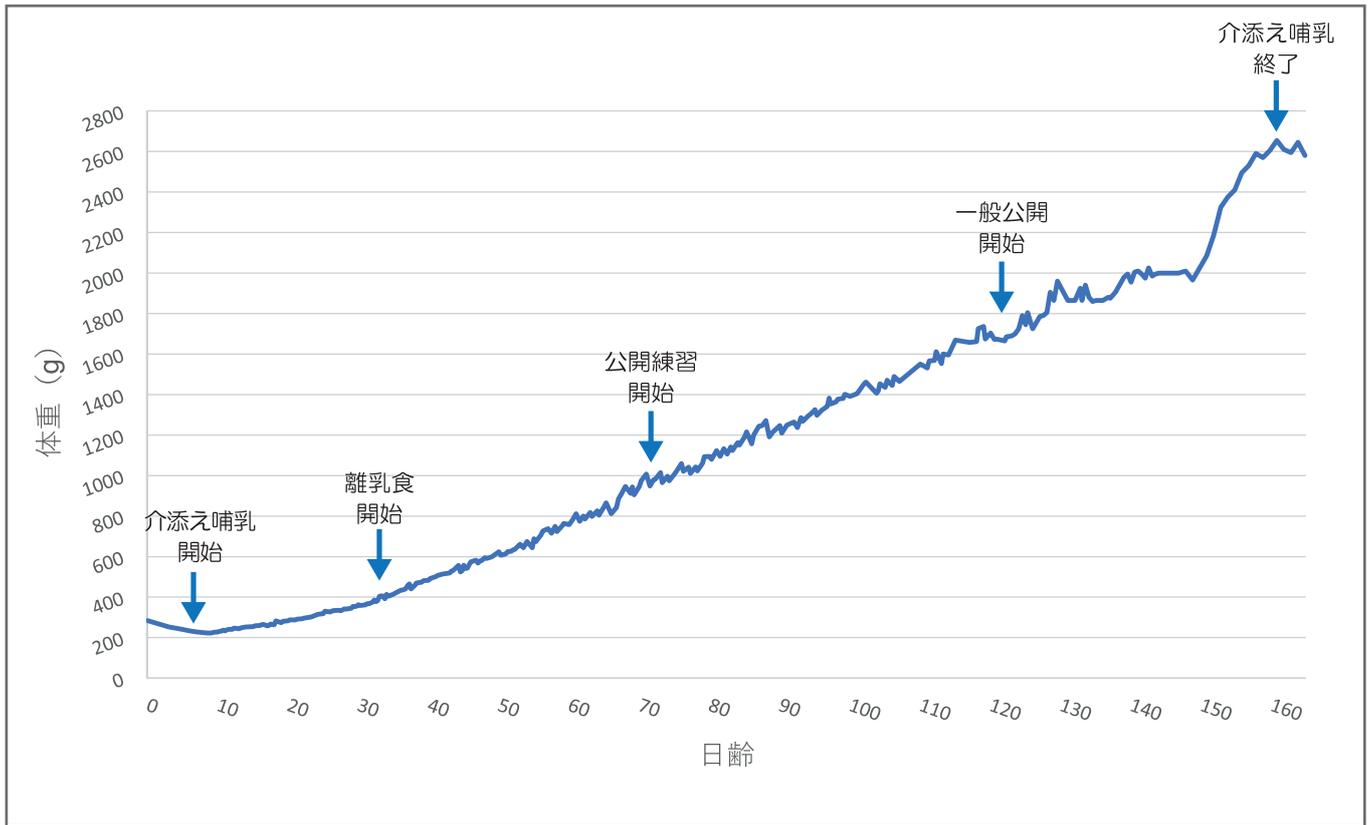


図1. 仔の介添え期間中の体重推移

ようになりました。

朝一番の確認の際に添い寝をしているときや、日中母親が採食をしていて動きが止まっている隙に胸側に潜り込んだときにおっぱいに吸い付いていることがよく観察されました。仔は一度にたくさんの母乳を飲むのではなく、小分けにして母乳を飲んでいくことがわかりました。

●少しずつ離乳が始まる

仔はこの頃からおやつとして母親に与えている香りの強いレモンやグレープフルーツに興味を持ち、食べるようになりました。また、アリを食べ始めてからは親子で奪い合うほどの勢いで食べるようになりました。その後は母親の通常のエサにも興味を示し、同じ容器から少しずつ食べるようにもなりました。

表2. 離乳経過

品名	食べ始め (日齢)
レモンやグレープフルーツ	8/7 (33日齢)
冷凍アリ	8/15 (46日齢)
親と同じエサ	9/4 (66日齢)



8月8日 (39日齢)

朝一番、落ち着いて授乳をしている



母親が食べているおやつに興味津々

●行動

8月30日(60日齢)に体重は758gとなり、母親の背中に乗らずに一人遊びをすることも増え始めました。体重を計測する時にかごから逃げ出す勢いで動くため計測できなかつたり、介添え哺乳時にも遊びながらで集中して飲まないこともありました。行動範囲も少しずつ広がり、一人で高い場所にのぼったり、母親に追われて逃げ回ったりと活動的になってきました。同時期に生まれた他園の個体と比べて体重の増加はゆるやかでしたが、仔のペースに合わせて介添え哺乳は続けました。



親子の会話が聞こえてきそうです

●公開にむけて

9月11日(73日齢)から一般公開に向けて展示室に慣らす練習も始め、10月2日(94日齢)には夜間も含めて展示室で3日間を過ごしました。しかし仔は少し落ち着きがなく便秘気味になったため、仔にとって環境の変化がかなり緊張を強いるものだったことが伺えました。その後も展示室慣らしを繰り返し、10月31日(123日齢)に来園者への公開を始めました。仔が母親の背におぶさって移動する姿や授乳をしている姿、じゃれ合っている親子の姿などを観察してもらえるようになりました。

公開後も介添え哺乳は続けました。昼間は眠っていることの多い種ですが、仔は昼間も活動的でエサもよく食べ、時には母親の分まで食べているのでは?と思うほどの大食漢で、じっとしていないお転婆な女の子でした。授乳もときどき見られていましたが、エサを食べるようになると一時的に体重が減りました。しかしすぐに増加傾向になったことから、12月11日(164日齢)に体重2580gで介添え哺乳は終了することにしました。

☆まとめ

ツムは初産でしたが比較的落ち着いていて仔に対して攻撃性がなかったため、仔は乳に吸い付くことができ、少なからず母乳は飲んでいたと考えられます。母乳量の不足により脱水症状に陥ってしまいましたが、保温とブドウ糖液やミルクを飲ませたことで体力が戻り、母親の背に戻すことができました。

介添え哺乳と共に体重測定などの仔の成育のサポートを行いました。介添え哺乳の前後に体重測定を行い、母乳と人工乳それぞれ飲んだ量を把握できるよう努めました。17日齢以降は献身的な子育ても見られ始めましたが、母乳量不足は否めませんでした。予想よりも体重増加はゆっくりでしたが、トラブルもなく少しずつ着実に大きくなりました。仔のお腹の減り具合で介添え哺乳時のミルク量は変化がありましたが、母乳をしっかり飲んでもらうために一度に飲ませる量の上限を30mlまでと決めました。母乳が足りている場合は介添え哺乳の量が少ないか全く飲まないこともありました。また、母親と一緒に暮らす介添え哺乳を選んだことで、母親の行動から学習して、自然なタイミングで離乳できたのではないのでしょうか。

「こころ」は1月27日(211日齢)に初潮をむかえ、その後発情も確認できました。1年ほどで性成熟に達する種であることから、順調に成育してくれたと思います。また、6月2日(388日齢)にはツムと完全分離を行い、独り立ちをさせました。将来、「こころ」が立派なお母さんになることを楽しみにしています。また、ツムの次の子育てにも期待しています。

☆謝辞

今回、ミナミコアリクイの介添え哺乳についてわんぱーくこうちアニマルランドの久川智恵美様より資料提供とご助言をいただきました。深く感謝いたします。

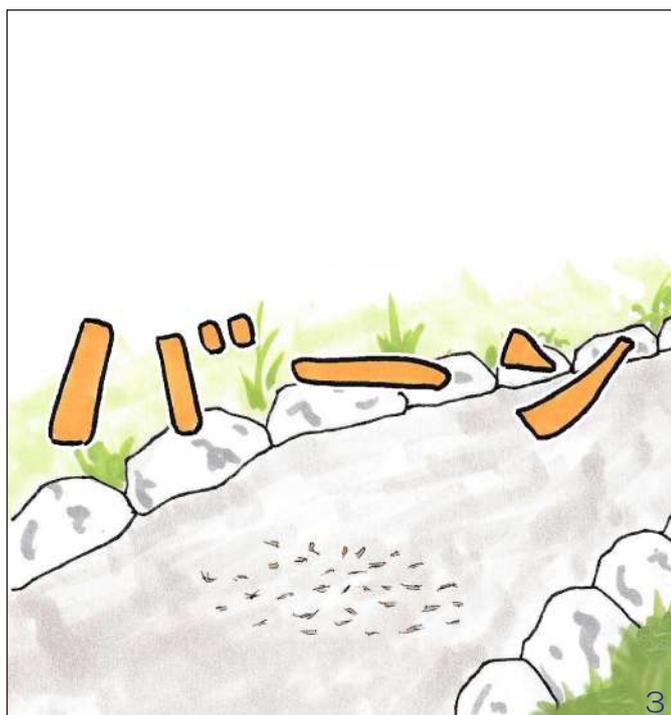


11月1日(124日齢)大きく育ったこころ



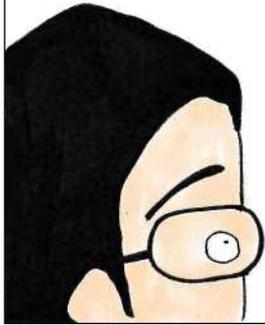
動物園の なにげない一日

～ ルカはどこ!? ～



保護鳥獣舎は、怪我をした野鳥などが野生復帰に向けて飼育されています。現在はカルガモやコガモの他に、コールダックやムササビもいます（近県で鳥インフルエンザが発生するとバックヤードに避難します）。

コガモの「ヨシマサ」はいる…



ほっ

5

カルガモの「アイ」もいる…



6

ルカがいない…



カルガモ



7

もしかして
なにもの
何者かに
おそわれた!?



8

この羽根が換羽によって抜けたものであり
ルカも無事に見つかるのは、もう少しあとのことである



ルカ

9



換羽とは古い羽が抜け落ちて新しい羽に生え変わることをいいます。鳥の種類や個体によって時期や回数は様々ですが、今回はあまりにも大量の羽根が突如として抜け落ちていたために心配となったようです。



動物園再発見

第43回 テナガザル

テナガザルは霊長目テナガザル科に分類され、ヒトに近い仲間の「類人猿」です。約20種おり、アジアの温暖な地域に分布します。

主に熱帯林に生息し、高さ数十メートルに達する森林の樹冠部で暮らします。とべ動物園ではアジルテナガザルとボウシテナガザルを飼育しています。

【和名】 アジルテナガザル
【英名】 Agile Gibbon
【学名】 *Hylobates agilis*
【分布】 マレー半島の一部 スマトラ島

【和名】 ボウシテナガザル
【英名】 Capped Gibbon
【学名】 *Hylobates pileatus*
【分布】 タイ南東部・カンボジア西部

テナガザル類はいずれも絶滅の危機に瀕しています。主な脅威には、開発などによる生息地の森林の破壊・分断化や、違法なペットトレード、薬の原料や肉を目的とした狩猟などが挙げられます。

特徴

長く発達した腕でぶら下がって枝から枝へと腕渡り(ブラキエーション)で移動します。

尾がありません。



オスとメスとその子どもからなる小さな群れで暮らします。

前肢に比べて後肢が短いので四足歩行は苦手です。太い枝の上や地上では両腕を上にあげ、二足歩行で移動します。

食べもの

雑食性で、野生では木の葉や果実、昆虫などを食べています。

とべ動物園では、小松菜やインゲン、ピーマン、トマト、リンゴ、落花生など色々な種類の食べ物を与えています。



うた 歌をうたう？

テナガザルは群れのなわばりを守るためや、
オスとメスのきずなを深めるために大きな声で鳴きます。
この声はメロディーやパターンがある「歌」になっています。
歌声は種や性別によって違い、
視界の悪い森林の中でも、数km先まで聞こえます。



とべ動物園で暮らすテナガザル



ボウシテナガザル
クロ♂
推定1978年うまれ



ボウシテナガザル
シロ♀
推定1980年うまれ



アジルテナガザル
フィフィ♀
推定1997年うまれ



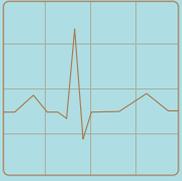
ボウシテナガザル
アッチャン♂
推定1998年うまれ



ボウシテナガザル
マキコ♀
推定197?年うまれ

寿命は30～40年以上と
考えられています。

とべ動物園には高齢の個体が
多いですが、元気いっぱい
暮らしています。



electrocardiogram

動物病院から

drug



medical record

Syringe



ホワイトタイガー救出劇

7月上旬のある日、トラのソソノ（メス・白変種）がモートに落下してしまいました。モートとは、動物の放飼場と来園者側の間にある堀（深い溝）で、幅が6.5メートル、深さは5メートルです。急いで見に行くと、幸いケガは無さそうでしたが、前日降った雨により増水したモートの中で、ソソノが困っていました。



モートに落ちてしまったソソノ

実は、ソソノは以前にもモートに落ちたことがあります。その時は水で追いながら階段に誘導すると、すぐに自ら上ってくれていました。そのため、溜まっていたモートの水を抜き、今回も上がってくれるだろうと、以前と同様に階段への誘導を試みましたが、しかし、前回は奇跡だったのか、今回は数時間経っても一向に階段を上る気配がありません。このままでは夕方になってしまい、安全に対処することができなくなると判断し、今回は麻酔をかけることになりました。

来園者側の植栽の隙間に入り、腰に安全紐を装着してモートを覗き込むと、思った以上の高さに一瞬ゾッ



麻酔銃で狙う様子

としましたが、何とか踏ん張って麻酔銃を構えました。上から狙うのが難しく、3発目でやっとソソノの臀部に命中し、数分後には麻酔が効いてきたように見えました。通常の麻酔処置時は、寝室に入る前に檻の間から棒で動物を突くなどして麻酔状態を確認しますが、今回はそうはいきません。石ころをソソノの耳のそばなどに落とし、その音への反応を観ました。しっかり麻酔状態にあると判断できた後、まず獣医師を含む数名でモートに下り、麻酔状態の最終確認を行った後、大勢の職員が突入しました。116 kgあるソソノを担架に乗せて担ぎ、狭く急な階段を上り、放飼場を通って寝室に運び入れました。その後、無事に覚醒を確認できた時に、やっと安心することができました。



ソソノを寝室へ運ぶ様子

ソソノの名誉のために言っておくと、ライオンなどでも、まれにモートに落ちてしまう事はあります。特に子どもの頃は遊びに夢中で落ちることがあります。ソソノは10月9日に誕生日を迎え、14歳と高齢ですが、元気で無邪気なところがあります。何かに気を取られて、思わず落ちてしまったのかもしれませんが。これからは、落ちないように気を付けながら、元気に過ごして欲しいと思います。

（獣医師 中山晃子）



寝室で目が覚めたソソノ

みなさん、お久しぶりです

かつてとべ動物園で働き、夢を追い旅立っていった仲間たちを紹介するコーナー。
今回は山口県宇部市にある、ときわ動物園に勤める『西森明弥』さんです。

ときわ動物で飼育員をしている西森明弥です。

とべ動物園では、アルバイトを経て契約職員になり4年間勤務しました。保護動物やウサギ・モルモット・キバタン・コールダックなど、主に小動物を担当していました。愛媛県が地元である私にとって、とべ動物園は幼い頃から親しみがあり、中学時代は職場体験でもお世話になりました。



ヨツユビハリネズミの人工哺育では繁殖賞をいただきました！

キバタンのタローとわたし



動物園の飼育員は、大学や専門学校で動物に関する知識を学んでいる方が多いですが、私は文系大学出身であったためほとんど専門知識がありませんでした。しかし、様々な経験をさせてもらったことで成長できました。そのうちの 하나가「人工哺育」です。携わった動物はムササビとハリネズミです。小さな命の重みを実感しながら、間近でお世話をする事で発見もあり、成長のために必要なことについて学ぶことができました。飼育以外でも、オリジナル商品のイラストを任せていただいたりしました。絵を描くことが好きなので、幅広く活動の場を与えてくださってとても楽しかったです。



イラストを描いたピースの豆皿とカバのまんぶくどんぶり



in Tokiwa Zoo

テナガザルの日にはオリジナルTシャツをつくりました！

これまでは愛玩動物や家畜などの身近な動物を担当していましたが、ときわ動物園で初めて野生動物を担当し、魅力や驚きが多いです。近くで見ること難しく、触ることなどほとんどできないため、日々の観察が特に大事だと痛感しています。知能が高い類人猿となると一筋縄ではいかず大変なこともあります。動物のより良い暮らしに貢献できるよう、先輩方から学んだことを活かしていきたいです。

☆動物園紹介☆

宇部市ときわ動物園は、「生息環境展示」を取り入れた展示方式で、2015年3月にリニューアルオープンしました。動物園面積は1.9haで、40種220点(2024年7月31日現在)の動物を飼育しています。国内最多の飼育数であるシロテテナガザルや、国内唯一の飼育であるハヌマンラングールなど、霊長類を中心とした動物が暮らしています。飼育員ガイドが充実しており、毎日実施しています。

シロテテナガザル



ハヌマンラングール





このページではとべ動物園で働く職員を紹介しています



★ 氏名を教えてください。

薄田翔太（すすきだ しょうた）です。

★ 出身地並びに出身地でのエピソードなど。

広島県出身です。幼いころから動物が大好きで、地元の動物園には数えきれないほど行きました！

★ 学生（または前職）時代の思い出を教えてください。

大学では主に家畜について学ぶことが多くありましたが、その中でも大学院生の時に関わった馬は自分のなかでとても印象に残っています。馬と関わったのは2年間とそこまで長くはないかもしれませんが、その期間でも馬の性格の違いなどが行動から分かるようになり、それがとても面白かったです。

★ 趣味を教えてください。

テニスやランニング、YouTube を見たり、寝ることです。

★ とべ動物園に就職が決まった時の感想は？

嬉しい気持ちと、驚きでいっぱいでした。また、飼育員になることは自分の夢だったので、大きな達成感を感じた瞬間でもありました。ただ、最初はあまり実感がわかず、何度も採用決定通知を見直していました。

★ 現在のお仕事は？

ジャガー、ピューマ、アフリカゾウを担当しています。

★ 動物園の中で好きな動物は何ですか？

理由もあれば教えてください。

ジャガーとピューマです。肉食動物の迫力とカッコよさだけでなく、おもちゃやプールで遊んでいる様子や寝ている姿がとても可愛くて、私の大好きな動物になりました。

★ その他とべ動物園でのおすすめポイント（動物）

などがあれば教えてください。

ジャガーです。ジャガーの親仔を見ることができるので、今しか見られない仔どもの可愛らしい姿を多くの方に知ってもらいたいです！

★ 今後やってみたいことはありますか？

ジャガーとピューマのトレーニングをやりたいです。動物にとってより安全に健康管理を行うためには必要な取り組みだと思うので、少しずつ勉強していきたいです。

★ 座右の銘を教えてください。

植松努さんの「中途半端とは、何もしないよりも何もできないよりも全然いい。ちょっとできただけマシなんです」という言葉です。何事も結果が出ないと努力してなかったんだと思いがちになりますが、この言葉はそれまでの過程をプラスに考えさせてくれる、私の大切な言葉です。

★ 最後に意気込みをひとこと

これからたくさんの知識と経験を積んで、人と動物のために動ける飼育員になれるように努力していきたいです。まだまだ未熟ですが、これからよろしくお祈りします！

たくさん食べて大きくなるんだよ！



読者投稿用紙

料金受取人払郵便

松山南局承認

1067

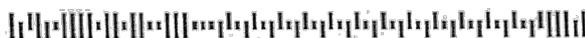
差出有効期間
2025年3月
14日まで

〒791-1190

伊予郡砥部町上原町 240

愛媛県立とべ動物園

愛媛動物友の会編集部 行



のりづけ②

のりづけ②

のりづけ③

きりとりせん

読者投稿用紙

(イラストや写真も同封できます)

 読者の皆様の原稿をドシドシお寄せください。

 Vol.36-3号でよかった記事、
つまらなかった記事は？

 ルトラーをさがせの答え
(正解者のお名前は
Vol.36-4号でご紹介します)

答え ○ 匹

 今後希望する記事・内容は？

(クイズの問題はP 2 3 参照)

 例会でよかった点、つまらなかった点は？

 例会で今後希望する企画は？

お名前

会員番号

★ 友の会 家族・個人

★ サポーター No.

会員の方は会員種別に○をし、会員番号をご記入ください。

住所

〒

電話番号



Vol.36-2 ルトラーをさがせ!! 正解者

「とべZOO Vol-36 No. 3号」の中に
ルトラーが隠れているよ！ぜんぶ見
つけて、その数を応募してね！

注意：このページのルトラーは含みません。

- | | |
|-----------------|----------|
| ★ 会員番号 No.11 | 矢野 敬子さん |
| ★ 会員番号 No.21 | 音地 秀起さん |
| ★ 会員番号 No.50 | 森 幸子さん |
| ★ 会員番号 No.52 | 田中 早苗さん |
| ★ 会員番号 No.164 | 雲野 ひばりさん |
| ★ 会員番号 No.76(家) | 尾崎 ゆずさん |
| ★ サポーター | 遠藤 敦子さん |
| ★ サポーター | 鏑木 房子さん |
| ★ サポーター | 神谷 英男さん |
| ★ サポーター | 川上 咲良さん |
| ★ サポーター | 河野 純子さん |
| ★ サポーター | 仲井 律さん |
| ★ サポーター | 中野 桂子さん |
| ★ サポーター | 橋本 富雄さん |
| ★ サポーター | 藤川 美紗さん |
| ★ サポーター | 三池 京子さん |
| ★ サポーター | 山崎 亜紀さん |
| ★ サポーター | 渡部 美由紀さん |

正解の方々にはオリジナル
缶バッジをお送りします。

☆前回の解説とこたえ



- ・「動物園のなにげない一日」の枠外コメントに登場！
- ・「動物園再発見」でつぶやく。
- ・「職員紹介」で豆知識を披露する。

正解は3匹でした

応募要項

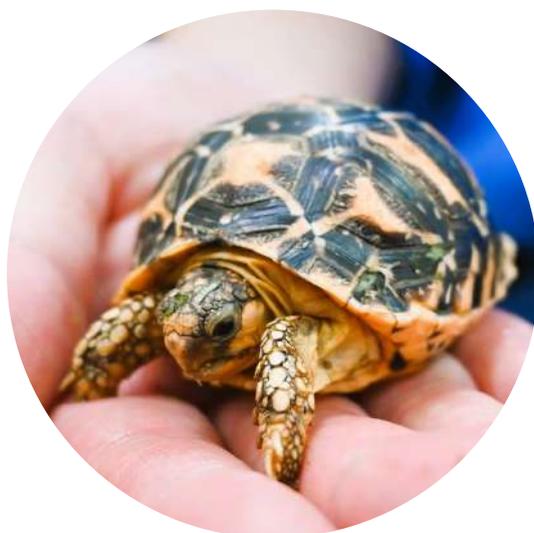
読者投稿用紙の解答欄に「ルトラー
をさがせ」の答えを記入して郵送す
るか、メールでお便り下さい。
1月10日までにご応募ください。

開園案内

- 開園時間 — AM 9:00 ~ PM 5:00
入園午後 4:30 まで
- 休園日 — 毎週月曜日
(祝日の場合は翌平日)
年末年始
(12月29日 ~ 翌年1月1日)
- 入園料 — 大人 (18歳以上) 500円
高校生 (15 ~ 17歳) 200円
小中校生 (6 ~ 14歳) 100円
(30名以上の団体 2割引)
- ホームページ — <https://www.tobezoo.com/>
- メールアドレス — info@tobezoo.com

とべZOO Vol-36 No.3号

令和6年発行
編集・発行人/公益財団法人愛媛県動物園協会
〒791-2191
愛媛県伊予郡砥部町上原町 240
印刷/公益財団法人愛媛県動物園協会
編集委員長/宮内 敬介
編集副委員長/佐々木 善基
編集委員/宮越 聡・池田 敬明・山本 祥菜
岡田 郁・里永 萌・村上 ひなの
森貞 恭治・白湯 綾・横手 凱



インドホシガメ



愛媛県立とべ動物園

〒791-2191 愛媛県伊予郡砥部町上原町240

TEL089-962-6000

動物取扱業に関する表示

申請者の氏名：公益財団法人 愛媛県動物園協会

事業所の住所：愛媛県伊予郡砥部町上原町240

登録番号：動愛第441号（展示）、動愛第994号（販売）

動愛第995号（保管）、動愛第996号（貸出し）

登録年月日：平成19年5月31日（展示）

平成29年5月31日（販売、保管、貸出し）

事業所の名前：愛媛県立とべ動物園

動物取扱業の種別：展示、販売、保管、貸出し

動物取扱責任者の氏名：椎名 修

登録の有効期間の末日：令和9年5月30日

定価
1100円